



3 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

| 項目                                       | 内 容   | 判定 | 判定の理由  |
|--|---|----|--|
| 必要性<br>(公益性)                             | 補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか                   | ○  | 根拠法令により区内の吹付石綿使用建築物は漏れなく安全な除去をするため。                    |
|  | 基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか                | ○  | 文京区ではアスベスト問題に関することを文の京自治基本条例の協働・協治に掲げ区と建設業協会と共同宣言している。 |
|  | 区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか                 | ○  | 区内建築物に特化したものであり、区が主体となって本事業を監督・推進していくべきである。            |
|  | 実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか                   | ○  | 適正な飛散防止措置が図られず、健康被害が生じる危険性がある。                         |
| 公平性                                      | 補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか | ○  | 区報、ホームページ及びパンフレットにより幅広く区民に通知する予定。                      |
|  | 交付先は適正な手続きによって決定されているか                      | ○  | 石綿建材調査有資格者の職員が申請書類の審査を行い、必要に応じて現地確認をした上で助成決定している。      |
| 効率性<br>(有効性)                             | 補助金の交付以外の代替策はないか                            | ○  | 分析調査を必要とするのは、個人及び事業者であるため、補助金交付が適当である。                 |
|  | 補助金の交付による効果が認められるか                          | ○  | 建築材料高騰や法改正による制度により個人所有者や中小事業者の負担が増しているうえでの補助制度の効果がある。  |
|  | 補助金額に見合う具体的効果が認められるか                        | ○  | 建築物の規模によりある程度の数の検体数を検査するので補助額は妥当な金額である。                |
|  | 事業実施の効果が広く区民に還元されているか                       | ○  | アスベストの区民の不安解消、適正な飛散防止措置を以て健康被害の防止がなされる。                |
| 適正性<br>(適格性)<br>(妥当性)<br>※個人等の補助金については不要 | 法令等に抵触していないか                                | -  |  |
|  | 団体等の活動内容が補助目的と合致しているか                       | -  |  |
|  | 団体等の会計処理や補助金の使途が適正か                         | -  |  |

4 交付実績

(件、千円)

| 項目                        | 6年度(予算) |  |  |  |
|---------------------------|---------|--|--|--|
| 交付(見込み)件数                 | 6       |  |  |  |
| 決算(予算)額                   | 22,000  |  |  |  |
| 国庫支出金                     | 10,000  |  |  |  |
| 都支出金                      | 2,000   |  |  |  |
| その他                       | 0       |  |  |  |
| 一般財源                      | 10,000  |  |  |  |
| 年度補助事業等の状況<br>(交付団体名、成果等) |         |  |  |  |

5 課題及び今後の方向性

所有者負担の大きい吹付アスベスト除去工事について、補助金を設立し、民間建築物の吹付アスベスト飛散防止対策を促進していく。